

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第45週 (ARIのみ第44週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (45 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 2 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	腎結核	なし
			70歳代	男	肺結核	その他
			90歳代	男	肺結核	その他
		都城	80歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難
4類	レジオネラ症	日向	30歳代	男	ボンティアック熱型	発熱、咳嗽
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	80歳代	男	—	ショック、急性呼吸窮迫症候群、DIC
	梅毒	宮崎市	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹
		都城	40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	5～9歳	女	—	持続する咳、肺炎

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 45 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 477 人(定点当たり 26.9)で、前週比 114%と増加した。

なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RS ウイルス感染症、伝染性紅斑であった。

また、第 44 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,420 人(定点当たり 50.7)で、前週比 110%と増加した。

【インフルエンザ】

報告数は 151 人(5.4)で、前週比 248%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.6)の約 9.0 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【伝染性紅斑】

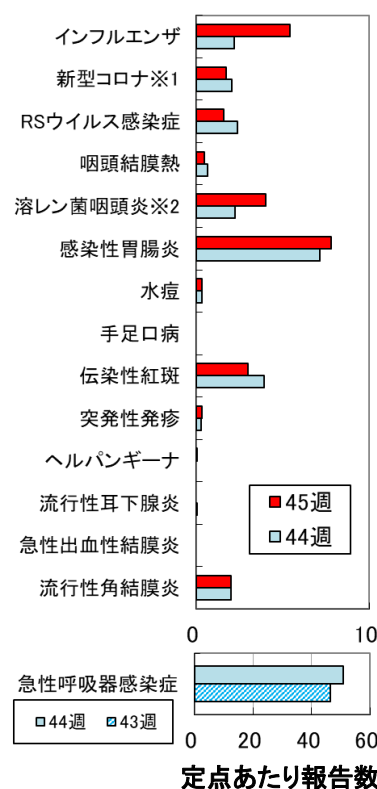
報告数は 45 人(3.0)で、前週比 76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.5)の約 6.3 倍であった。年齢群別は 3 歳から 6 歳が全体の 6 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

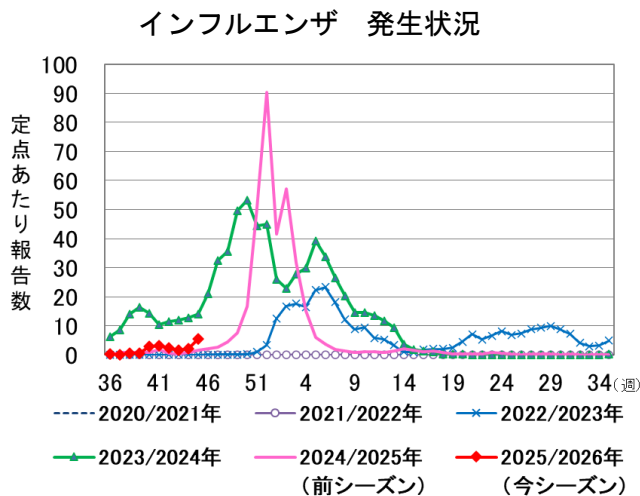
報告数は 117 人(7.8)で、前週比 109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.9)の約 0.8 倍であった。年齢群別は 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

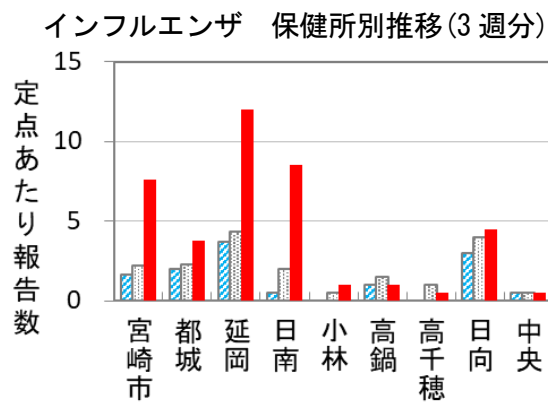
《前週との比較》



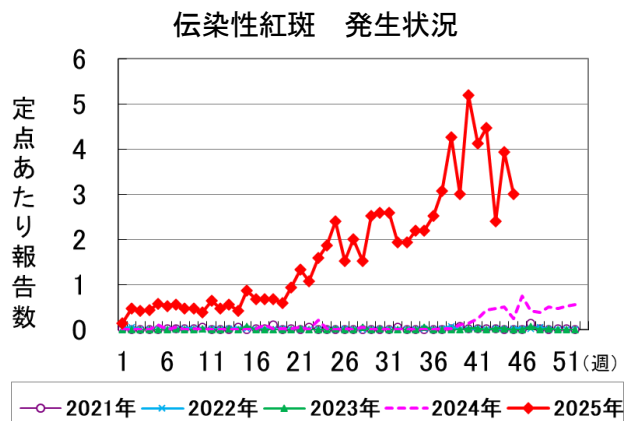
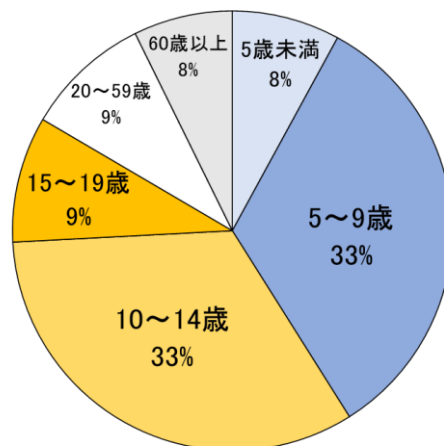
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



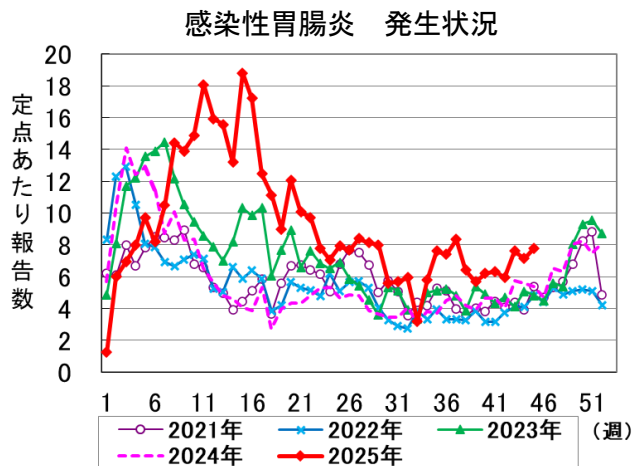
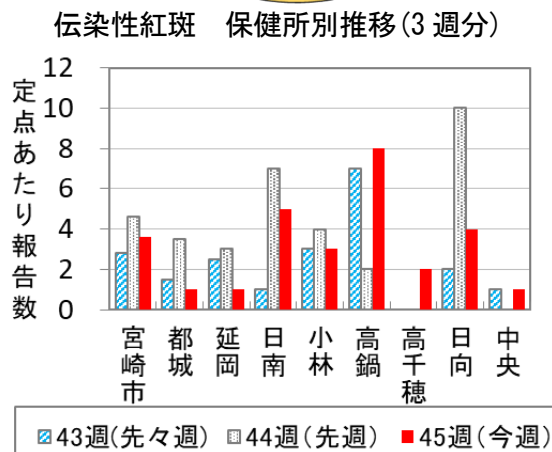
※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 58 から 28 に変更



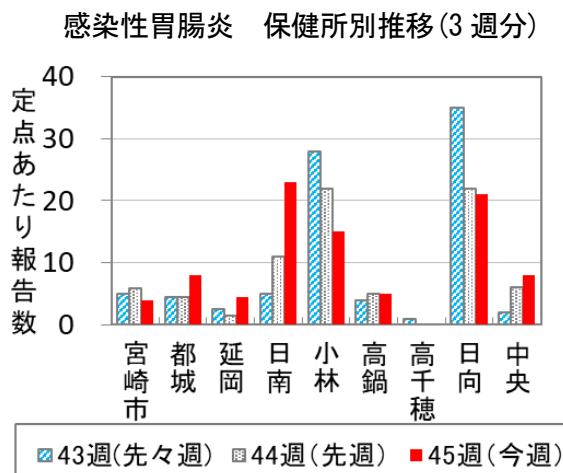
インフルエンザ年齢群別グラフ(第 45 週)



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、高鍋保健所から報告があった。年齢は10～14歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(3.6)
都城	なし
延岡	インフルエンザ(12.0)
日南	感染性胃腸炎(23.0)、伝染性紅斑(5.0)
小林	伝染性紅斑(3.0)
高鍋	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(15.0)、水痘(1.0)、伝染性紅斑(8.0)
高千穂	伝染性紅斑(2.0)
日向	感染性胃腸炎(21.0)、伝染性紅斑(4.0)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(2025 年第 44 週:10 月 27 日～11 月 2 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	1
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			2
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		2
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			0
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			7
受付検体数			12

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2025 年 11 月 10 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Saintpaul (O4:e,h:1,2)	5～9歳	男	2025.09.30	発熱、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢	便	2025.10.09
<i>Salmonella</i> Bareilly (O7:y:1,5)	60歳代	男	2025.10.20	発熱、下痢	便	2025.10.27

★ウイルス

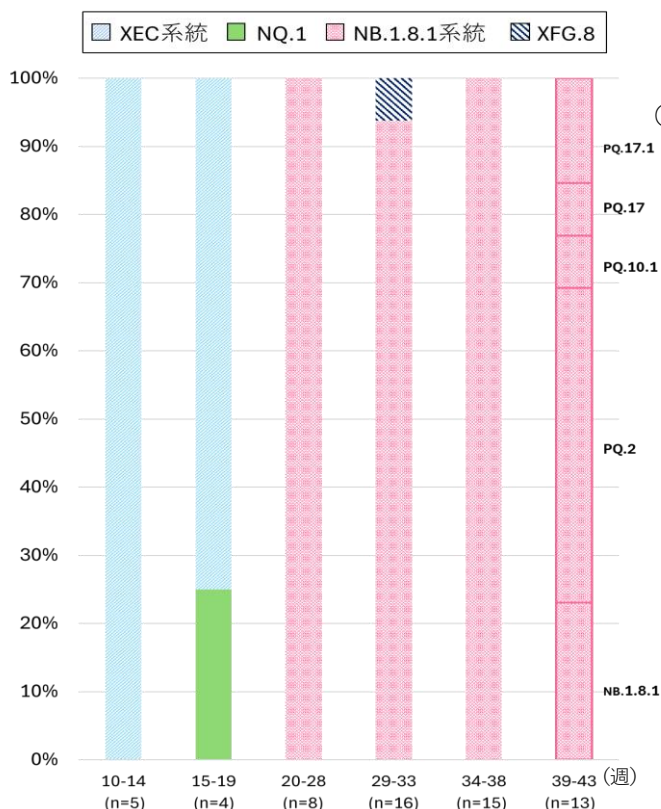
同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Echovirus 9	不明	不明	2025.08.23	感染性胃腸炎、下痢	便	2025.10.28
Human herpes virus 6	40歳代	男	2025.09.08	麻疹疑い、39℃、頭痛、筋肉痛、筋炎、 バラ疹、下痢、嘔気、嘔吐、腹痛、 肝機能障害、腎機能障害、呼吸苦、胸膜炎	尿	2025.10.31
SARS-CoV-2	0～4歳	女	2025.09.08	伝染性紅斑、38.5℃	咽頭ぬぐい液	2025.10.28
Rhinovirus A	不明	不明	2025.09.19	感染性胃腸炎、下痢	便	2025.11.04
Human herpes virus 6	0～4歳	男	2025.09.24	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2025.11.04
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.09.30	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2025.11.04
Adenovirus B3※ ¹	30歳代	女	2025.09.02	急性扁桃腺炎 38℃、咽頭痛、結膜炎	鼻腔ぬぐい液	2025.10.29
Adenovirus B3※ ²	40歳代	男	2025.09.02	急性気管支炎 38.2℃、頭痛、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	2025.10.31

※1 ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

※2 ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、遺伝子解析により型別されたウイルスも再掲

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



○ 第 39-43 週は PQ 系統を含む NB. 1. 8. 1 系統が 100%であった。(NB. 1. 8. 1 は 23%、PQ 系統は 77%)
PQ 系統は、NB. 1. 8. 1 の下位系統であり、NB. 1. 8. 1 は JN. 1 株と XDE 株の組換え体である XDV 株から派生した変異株である。

※ 衛生環境研究所においては、宮崎県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、急性呼吸器感染症 (ARI) の病原体定点から提出された検体を用いて新型コロナウイルスのゲノム解析を実施している。
なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

🇯🇵 全国 2025 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	237 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	178 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	3 例	エムボックス	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	4 例	つつが虫病	2 例	デング熱	1 例
	日本紅斑熱	29 例	レジオネラ症	45 例	レプトスピラ症	4 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	13 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	9 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例	後天性免疫不全症候群	8 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性肺炎球菌感染症	28 例
	水痘(入院例)	13 例	梅毒	159 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	718 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 147%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患は特になかった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 126%と増加した。

インフルエンザの報告数は 57,424 人(14.9)で前週比 237%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.5)の約 31.4 倍であった。宮城県(28.6)、神奈川県(28.5)、埼玉県(27.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 1,902 人(0.8)で前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.4)の約 2.3 倍であった。宮城県(3.9)、佐賀県(3.6)、山形県(3.1)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の
当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	61	151	68	15	36	17	2	2	1	9	1
	定点当り	2.18	5.39	7.56	3.75	12.00	8.50	1.00	1.00	0.50	4.50	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	58	49	11	8	9	1	6	1	7	3	3
	定点当り	2.07	1.75	1.22	2.00	3.00	0.50	3.00	0.50	3.50	1.50	1.50
RSウイルス感染症	報告数	36	24	4	2	4	3				4	7
	定点当り	2.40	1.60	0.80	1.00	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	4.00	7.00
咽頭結膜熱	報告数	10	7	3	1	1			1		1	
	定点当り	0.67	0.47	0.60	0.50	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	34	60	17	5	14		1	15		4	4
	定点当り	2.27	4.00	3.40	2.50	7.00	0.00	1.00	15.00	0.00	4.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	107	117	20	16	9	23	15	5		21	8
	定点当り	7.13	7.80	4.00	8.00	4.50	23.00	15.00	5.00	0.00	21.00	8.00
水痘	報告数	5	5	4					1			
	定点当り	0.33	0.33	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	59	45	18	2	2	5	3	8	2	4	1
	定点当り	3.93	3.00	3.60	1.00	1.00	5.00	3.00	8.00	2.00	4.00	1.00
突発性発しん	報告数	4	5	3	1						1	
	定点当り	0.27	0.33	0.60	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	12	6	2	4						
	定点当り	2.00	2.00	2.00	1.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	1						1			
	定点当り	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第44週(10月27日～11月02日)

		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1296	1420	323	157	175	124	106	98	99	223	115
	定点当り	46.29	50.71	35.89	39.25	58.33	62.00	53.00	49.00	49.50	111.50	57.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～45週 保健所受理分)

2類感染症	結核	114例(4)	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例	
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎 1例 重症熱性血小板減少症候群 7例
	つつが虫病	8例	デング熱 2例 日本紅斑熱 29例
	レジオネラ症	8例(1)	
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎 2例 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 16例(1) 後天性免疫不全症候群 4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症 20例 水痘(入院例) 3例
	梅毒	110例(2)	播種性クリプトコックス症 1例 破傷風 3例
	百日咳	1,392例(1)	

()内は今週届出分、再掲